

**A D V I C E** 学生の皆さんへアドバイス

**社会人と学生の  
違い**

自由に時間を使える学生時代とは違い、社会人は一定の時間・期間内で業務を行うことが求められます。またチームのスケジュールに合わせる必要もあり、限られた時間内でベストなパフォーマンスができる集中力が必要になります。

**学生時代にしておけば  
よかったこと**

時間に縛られない学生時代だからこそ、長期の旅行など色々な経験をすればよかったと思います。社会に出て仕事をすると、ある程度限られた人と接することが多くなるため、学生の時に広く多彩な人間関係を築いておくべきでしょう。

**キャリア選択の  
アドバイス**

例えば医薬品メーカーの品質や製造の管理者も薬剤師の資格が必要なのだ、この仕事に就いて知りました。薬剤師が活躍できる職種はたくさんあります。様々な可能性を知った上で、自分の進路を選択してほしいと思います。

**FUTURE VISION** to MY FUTURE  
**Myタイムカプセル - 5・10年後の私 -**

京都府庁では薬剤師職の職員は、薬事行政だけでなく環境行政や生活衛生関係など多分野の仕事を体験できます。それぞれの知識とスキルを蓄積することでジェネラリストとして活躍できる職員になるのが目標です。自分が育った京都の健康や安全にたくさん貢献できればと思います。

**OFF TIME**

アウトドアでリフレッシュ。  
年に1度はフルマラソンに出場しており、昨年の東京マラソンでは3時間を切るタイムでゴール。練習のためのランニングが運動不足の解消とリフレッシュにつながっています。




**6**  
年制卒業先輩  
薬剤師

**医療という枠を超えて幅広く知識を積み、  
人のネットワークを構築し、業務に活かしていきたい。**

健康福祉部 業務課 薬事監視員 杉下 靖宜さん 京都薬科大学 薬学部卒業 2013年入庁



**COMPANY'S EYE**

**6年制に期待すること**

京都府の薬剤師職員として活躍できる場は、薬事、食品衛生、環境衛生、環境行政など多岐にわたります。また、多くの産業・分野・地域・人々との関わりを経験し、幅広い知識や視点、つながりを持って働くフィールドがあり、よりよい社会の実現への役割を担うことができます。そのため、京都府では、積極的に「現地・現場」に飛び込み、府民の思いを出発点に「今、なにをすべきか。今、なにができるか。」を自ら考え、提案できるチャレンジ精神とバイタリティー、柔軟な発想をもって課題に取り組み、多くの人と交流し、協働して、府民の力を活かすために責任を持って地域を創りあげていくクリエイティブさのある人材を期待しています。

**京都府開庁150年 世界交流首都・京都へ**

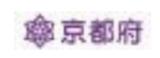
開庁150年を迎えた京都府は、先達の卓越した叡智と情熱により築き磨かれてきました。明治維新の際、全てが東京に移される中、人口の3分の1が減少し、存亡の危機に直面しますが、真っ先に試みたのは、徹底した「人づくり」と「イノベーション」。日本で最初の小学校の開校、京都大学の前身である第三高等中学校の誘致などと同時に、当時の府の総予算の2年分を費やした琵琶湖疏水の完成は、水力発電で京都に市電を走らせ、電灯をともし、京都の近代化を加速させました。これからも、先達の志を受け継ぎ、新しい人づくりとイノベーションによって「世界交流首都・京都」として、新たな時代を牽引し、未来への遺産を引き継ぐために全力を傾けていきます。

**Company DATA**

官公庁  
**京都府庁**

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町  
http://www.pref.kyoto.jp/recruit/

従業員数 一般行政部門 4,175名(うち薬剤師 約90名) (平成29年4月現在)  
事業所 本庁(業務課)、保健所、保健環境研究所など  
事業内容 京都府では現在約90名の薬剤師が働いており、多岐にわたる分野から府民の衣食住を守る、やりがいのある仕事です。  
[業務課] 医薬品、医療機器等メーカーの立入調査や製造業・販売業の許認可業務等  
[保健所] 医薬品、薬物乱用防止、食品、環境保全等の業務等  
[保健環境研究所] 医薬品、食品、大気、水質などの分析、調査研究等



**環境行政というフィールドで  
知識とスキルを蓄積**

大学の実務実習時に、行政の薬物乱用防止の講師として活動されている先生がおられ、私も会議などに同行させていただく中で、薬剤師が携わる仕事として行政という可能性があること知り、公務員を目指すきっかけになりました。入庁してまず配属されたのは、丹後保健所の環境衛生室。1年目は水質汚濁・土壌汚濁の防止に関する業務を担当。汚濁の原因となり得る工場等の施設建築の際には、法令に基づいた届出が必要で、これらの届出の内容を審査し、周辺環境へ影響が無いか、規制基準を満たしているかなど確認することにより、公害の発生を未然に防ぎます。またそうした施設の現地調査も行い、問題点があった場合は改善するよう事業者に対して指導するのも私の役割です。2年目からは廃棄物関係の業務も担当。産業廃棄物処理業者や施設の許認可を行いました。環境行政は法令や省令によって規制基準がかなり厳格に決まっております。法の知識がないと指導にぶれが生じます。なぜ申請が認められないのか「なぜ届け出が必要なのか」を問われた際に確かな根拠を示さねば納得してもらえません。私は法令等を読み込むと共に、過去の事例を徹底的にあたり、一つひとつの案件に真摯に対処するよう努めました。「適確な指導のおかげで無事申請が通りました」と感謝の言葉をもらえた時の嬉しさは今も忘れません。

**医薬品や医療機器の  
品質と安全が保たれるように**

4年目に本庁の業務課に異動となり、医薬品や化粧品、医療機器の品質や安全性を監視指導する薬事監視員に。製品が薬機法に基づいた環境や工程で製造・販売されているかを調査し、許認可を行う仕事です。私がかかっているのは、指摘するだけではなく、改善策も同時に提案する姿勢。ある工場では人と製品の出入口が同じで、ゴミの混入リスクが高まるため、入口を分けるよう指導。しかし構造的に対応が難しく、ため、製品の清掃用の区域を作り、清掃を行うなどのソフト面での対応策を提案したところ、納得し、改善していただくことができました。こちらが誠意を見れば相手も協力的になる。保健所勤務時に学んだ、事業者の方とのよりよい関係づくりがここでも役に立っています。

現在は京都府の後発医薬品の安心使用を推進するプロジェクトにも携わっています。国は2020年までに後発医薬品の使用割合を80%にするという目標を掲げています。京都府内ではまだまだ目標にはほど遠く、ここが本質的な問題なのかを知るために医師や薬剤師へのアンケートを実施したり、改善できるポイントはないかとメーカーと話し合いを重ねたりするなど様々なアプローチを試みている。重大なプロジェクトに関わることで責任とやりがい。医療という分野を超えて幅広い経験ができるのも公務員の魅力だと感じています。